

日本のCN・GXは今後どこに向かうのか

～不確実な時代に、日本が描く「次の成長」のかたち～



伊藤 剛氏

横島 直彦氏

伊藤 穎則氏

増山 壽一

カーボンニュートラルやGXは、昨今の内外のエネルギー事情や従来の日米安全保障の意義を問い合わせる指摘もあり、その歩みは必ずしも順風満帆とは言えない状況にあります。こうした状況の中で、日本のカーボンニュートラル、そしてGXは、どこに向かい、どう歩んでいくのか。

本セミナーでは、政策・技術・産業の視点から、日本のCN・GXの現在地と今後の方向性を考えます。

日 時 2026年 1月26日(月) 13:00~14:30 (12:30開場予定)

会 場 霞山会館「牡丹の間」

千代田区霞が関3-2-1 霞ヶ関コモンゲート西館（霞山会館ビル）37階

定 員【会場参加】70名 + Zoom 300名 ※先着順 ※参加無料

申込期限 1月16日(金) 12時まで

お申込みはこちらから▶

お申込みフォーム▶ <https://forms.office.com/r/KrY2zHzKtx>



- ◆会場参加は、お席に限りがございますので、定員となった場合は、恐れ入りますがオンラインでのご案内をさせていただきます。（Zoom URLをメールでお知らせいたします）
- ◆複数人での参加をご希望の場合は、必ず1名ずつ申込フォームにてお申込みください。

《第1部》基調挨拶

伊藤 穎則氏 経済産業省 GXグループ長

《第2部》講演・パネルディスカッション

横島 直彦氏 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）副理事長

伊藤 剛氏 EX4Energy株式会社 代表取締役社長、U3イノベーションズ合同会社共同代表

モデレーター 一般社団法人カーボンニュートラル推進協議会 代表理事

増山 壽一 京都先端科学大学 特任教授、Office de MASUYAMA 代表

主催：



一般社団法人 カーボンニュートラル推進協議会

Office de
MASUYAMA
オフィス・ドゥ・マスヤマ

— 日本のCN・GXは今後どこに向かうのか — ご登壇者 プロフィール

基調挨拶



いとう さだのり
伊藤 穎則氏 経済産業省 GXグループ長

1994年東京大学法学部卒業後、通商産業省入省。コロンビア大学ロースクール修士、米国NY州弁護士取得。資源エネルギー庁において、電力・ガス市場制度の企画・整備を担当し、電力市場改革をはじめとするエネルギー政策の中核を担う。2025年7月よりGXグループ長（現職）。カーボンニュートラル・グリーン TRANSFORMATION 政策全般を統括する。岸田文雄内閣総理大臣秘書官、資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部長といった要職を歴任。現在は、エネルギー政策とGX政策を横断し、日本の産業変革を推進している。

講演・パネリスト



よこしま なおひこ
横島 直彦氏 国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）副理事長

1994年東京大学法学部卒業後、通商産業省入省。米国ニューヨーク大学ロースクール修士課程修了、コロンビア大学東アジア研究所客員研究員。経済産業省および農林水産省において、エネルギー、地域経済、中小企業政策、食料・製造産業政策など幅広い分野の制度企画・政策運営に携わる。資源エネルギー庁では電力・ガス事業部においてガス市場整備を担当し、エネルギー市場制度の構築に関与。中小企業庁経営支援部長を経て、2023年10月より国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）副理事長（現職）。産業政策と技術開発を結びつけ、グリーン TRANSFORMATION とカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを推進している。



いとう たけし
伊藤 剛氏 EX4Energy株式会社 代表取締役社長
U3イノベーションズ合同会社 共同代表

東京大学卒業後、株野村総合研究所に入社し、電力・ガス業界や不動産・住宅産業を対象とするコンサルティング業務に従事する。2012年10月、アクセンチュア株に移籍し、戦略コンサルティング本部の電力・ガス業界を対象とするコンサルティングチームを立ち上げる。2018年10月、「エネルギー産業の2050年 Utility3.0へのゲームチェンジ」の共著者である竹内純子氏と共同でU3イノベーションズ合同会社を設立する。2022年6月、エネルギー産業を対象とした通信基盤であるPublic Power HUBを運営するEX4Energy株式会社を設立し、代表取締役に就任し、現在に至る。

おもな著作（共著を含む）「進化する電力システム」（東洋経済新報社、2012年8月1日）
「エネルギー産業の2050年 Utility3.0へのゲームチェンジ」（日本経済新聞出版、2017年9月1日）
「エネルギー産業2030への戦略 Utility3.0を実装する」（日本経済新聞出版、2021年11月20日）

モダレーター



ますやま としかず
増山 壽一 一般社団法人カーボンニュートラル推進協議会 代表理事
京都先端科学大学 特任教授、Office de MASUYAMA 代表

1985年東京大学法学部卒業後、通商産業省入省。資源エネルギー庁・省エネルギー・新エネルギー政策課長、JOGMEC（独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構）総務部長などのポストを経て、北海道経済産業局長、独立行政法人中小企業基盤整備機構 筆頭理事、環境省特別参与など歴任。現在は、政策・再生エネルギーコンサルタントとして、IT、エネルギー関係企業及び、上場を目指すベンチャー企業などへの経営指導をするほか、地方創生・地域振興の事業促進を手掛け、国内外のクライアントの課題解決支援。多くの元気な企業・団体の顧問を務める。2021年より（一社）カーボンニュートラル推進協議会 代表理事。

